

研究室 からの メッセージ 177

Data(2020年10月現在)

所在地 〒703-8501 岡山県岡山市中区平井
1-14-1

スタッフ 福岡悦子(教授/学部長), 目良宣子
(教授/領域長), 大島珠子(助教), 河
田恵子(助教)

URL www.sguc.ac.jp/education/faculty/nursing



山陽学園大学看護学部

公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

山陽学園の歴史は130年余りになり、学園の前身である山陽英和女学校は1886年に開学しました。1889年に着任の上代淑先生は、日本の女子教育の基礎を築き、その教えは、本学の教育理念である「愛と奉仕」として現在も引き継がれています。フローレンス・ナイチンゲールが病に伏しているとき、上代先生は一目お会いしようといギリスまで出かけられました。その思いは時代を超え、2009年に看護学部開設、2013年大学院、2016年助産学専攻科開設に至っています。

Education

どのような教育をしていますか？

保健師課程は、2012年度入学生から2年終了時の選抜制となり、定員は20名程度、看護師資格取得のみを目指す場合より19単位多く履修します。3年前期の公衆衛生看護学演習(2単位)では、4年前期の地域活動実習(2単位)を見据えて、大学周辺の平井学区の地域診断を実施します。演習では、地域診断で得られた情報から地域の健康課題を見出し、学内で健康教育を実践します。実習では、さらに健康課題を見直し、地域住民を対象とした健康フェアを地域の公民館で開催するため、企画・広報・実践・評価・次年度への課題を検討するなど、

一連の過程を経験します。地域の地区組織や町内会長、公民館職員との連絡調整も経験します。

Research

どのような研究をしていますか？

大学のボランティア支援・地域連携推進センターでは、2016年に平井学区の地区組織と共同で認知症カフェ開設に至りました。町内会長からの要望を受けて、物忘れ相談プログラムを10台導入し、2017年3月から認知症検査を含む高齢者健康測定を開始しました(2020年度から科研費を確保)。老年看護学領域教員を中心に、基礎・精神・公衆衛生看護学領域教員有志が合同で、学生ボランティアを募って、年2回(4日間)実施しています。学生ボランティアは、「コミュニティヘルス」というサークル活動に発展しています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

市民と専門職による地域づくりを目的として、岡山市中区の住民、在宅医療、介護に関わる専門職種などが協働して連携する「なかまち〜ずフェスティバル」に、大学も協力団体として参加し、公衆衛生・老年看護学領域の教員は、ブースを出展し地域と交流を深めています(「なかまち〜ず」とは、なかの、なかまで、なかの、まちづくり、チーズのようにとけこもう!まきこもう!の意)。

ひとこと

2012年度から、看護師の資格を持ち保健師と学位(学士)取得を目指す3年次編入生の4名を募集します。看護師経験を積んで、あるいは経験はなくても、患者や療養者の地域における生活に関心をお寄せられる方は、チャレンジしてください。上記のように、教育・研究・実践が一体となった学びを得ることができます。

目良

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介ください。

応募方法 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp